

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

## 事業名 短期技術研修等開催費（森林文化アカデミー）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

林政部 岐阜県立森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター

電話番号：0575-35-2535(701)

E-mail：c21907@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,455 千円（前年度予算額：1,089 千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,089	0	0	0	0	0	0	0	1,089
要求額	1,455	0	0	0	0	0	0	0	1,455
決定額	1,455	0	0	0	0	0	0	0	1,455

## 2 要求内容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

本校は、森林技術者の養成を目的とした県立の専修学校である。

また、これまで県民における森林・林業の理解者を広げるため多彩な講座を開催する「生涯教育部門」と、森林・林業分野の現役技術者がその能力向上のための専門技術等を学べる講座を開催する「専門技術者教育部門」を擁し、専修学校を運営する「専修教育部門」とあわせた三位一体で、岐阜県の森林・林業教育の中核教育施設として、その相乗効果により教育効果を向上させるよう実施してきた。

### （2）事業内容

森林技術者等に対し、時代要請を反映した新しい技術研修を提供するとともに、あわせて職能継続開発教育（CPD）の一環を成し、県内の森林技術者等のスキルアップを図る。

### （3）県負担・補助率の考え方

森林文化アカデミーの運営にかかる附帯教育事業であるため、県において全額負担することが妥当。

(4) 類似事業の有無  
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
報酬・共済費	167	アシスタント 報酬 166、共済費 1
報償費	684	外部講師謝礼等
旅費	383	外部講師の費用弁償 201、職員業務旅費 20
需用費	207	消耗品 97、印刷製本費 110、燃料費 0
役務費	14	資料郵送等
合計	1,455	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第三期 岐阜県森林づくり基本計画

(2) 後年度の財政負担

本校は他では提供できない知識等を学ぶことができる、森林・林業分野の教育・研修を行う中核機関として県民に認知されてきており、その役割は林業界の人材育成を通じた健全な森林の造成、県民の生活環境の維持増進に及ぶなど、引き続き県の関与が強く求められている。

このため、今後も県費による事業を継続する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 受講した技術者が森林経営や木造建築設計に携わることなどにより、木材の需要拡大と地域の森林の健全な維持管理につなげる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%

### ○指標を設定することができない場合の理由

「専門技術者教育」は、森林や木材に関する技術者全体を対象として、継続的に実施するものであり、また事業の性質上、目標は数値ではなく質として表されるべきものであることから、短期的な目標や数値化できる目標を設定することは馴染まない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 開催回数：9講座（延べ60回） 参加人数：479名（web講座を含めた参加人数：1,207名）
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b>（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>森林・林業に関する社会情勢（時機）に応じた研修を提供するものであり、林政部関係課等と密接に連携しながら、効率的に実施していく必要がある。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b>（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>各講座を毎回多くの県民が受講し、事後アンケートでも有意義であったという回答が多い。このため、県民が必要とする講座が開講され、当該事業が有効であると評価できる。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b>（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>民間団体等との連携により、効果的・効率的な運営が可能な場合は、連携講座として実施している。また、事後のアンケートによれば、インターネットによる情報収集が多いことから、引続きHP等による情報発信に努める。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  幅広い県民のニーズの中から、アカデミーでしかできないものを継続して提供していく必要がある。                  内容が高度な講座等については、連続で開催する講座を増やすなど、参加者の理解を深めるための工夫が必要である。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  森林・林業に対する県民のニーズは高度かつ多様であり、林業事業体からは森林技術者の資質向上に関して県によせる期待は大きい。このため、県民からの要求を見極めつつ、関係機関等と連携し事業を継続する。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	